

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

東京都市大学 理工系学科 女性卒業生

卒業後の活躍レポート 付随資料

アンケート対象者：2011年4月の女性卒業生

アンケート実施者：東京都市大学 女性研究者支援室

- 同世代の人、全くの同期たちと仕事について真剣に話してみたい
- 建築関係は男性社会なのはわかっているので不自由は感じません
- 卒業後勤続13年目となります。育児をしつつ働くことはまだまだ働く本人、周りの人、雇用側それぞれ課題があります。ただし働くことで得られる事も多々あります。卒業された女性は頑張っていたきたい
- "男性だから""女性だから"という発想を前提に物事を考え始めることは習慣としてどこかしら頭の中に染み着いてしまっているように思います。多様な価値観、考え方、広い視野で物事を捉えられる人々、社会が将来的に存在する(受け入れられる)ようになって欲しいものと思います
- 休職中のため(育児休業4ヶ月)今回のアンケート内容については日々考えさせられているものでした。総合職(事務系)として自己実現を図ることで子どもの成長にどう影響するかは数値で表せるものではありませんが、親になる事の難しさとして実感しているところです。
- 在学中、男子の比率が圧倒的に多いゆえに目をつぶらなければならない会話等を受け流すのに苦労しました。教職など男女比が半々くらいの所ではそのようなことはなかったのが女子がもっと増えればこんな苦労も減るのではないかと思います
- 女性が子育てをしながら働く制度はあっても実際働いてみると職場の理解がないことに気づいた。技術職で働きたい気持ちはあっても普通に働いて普通に育児をすることは難しいのかと思ったとき、自分が大学で学んできたことは何だったのかと考えてしまいます。もし職場の理解が得られるような技術職があるのであればぜひ利用したいです。もし役に立てるならご協力させていただきたいと思っています
- 学校名の変化がさびしい
- 自分が学部生だったころに就職についてもっと意識が高められるイベントがあれば良かったと思いました
- 若い今からの人々には育児設備が整って早い時期にキャリア支援をうけて再就職出来たらよいと思います、我々の年代には仕事をあきらめる葛藤がありました
- 女性だけの同窓会をしたらいかがですか
- 4年間建設会社で現場技術者として働いていました。はじめは多くの人と同様、男には負けない!といういきどおりましたが体も心も壊す寸前までいきました。そんな時ある先輩(男性)から「お前は笑顔でそこにいるだけで事故が減る」というようなことを言われました。女性が現場にいる→現場がなごむ→ほどよい緊張感で仕事ができる→事故が減る。という意味でした。男女は平等ではないと思いました。平等ではないという前提にたつと色々なことが楽になりました。しかし平等を求める活動になってほしくないと思います。

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- こういった活動がされていることを心強く思います。がんばってください
- 子供が小学生になり働きたいと思いながら日々の生活に追われ再就職の活動ができずにいます。良いアドバイスがありましたら良い働き口のあっせん等お願いいたします
- 武蔵工大の女性はすごく活発で、男の人と同じ様な力がある人が多いと思っています。私は別ですが。私は女性らしい仕事を求めていたので今の会社に就職を決めました。やりがいは 100%ではありませんが、毎日楽しく働いています。もし結婚をしても続けていけるのではないかとも思っています
- 再就職の紹介等あれば利用したいです
- このアンケート自体女性差別な気がしますが
- 環境情報学部では営業や SE の求人ばかりで正直偏りがあるように感じていました。もっと”環境情報学部”らしい求人が多いと大学で学んだことも活かせるでしょうし「この大学で学んできてよかった」と就職後に思えるのではないのでしょうか。どうせならもっと環境就職を推して欲しかったです。(学部卒での環境就職は難しいとされていますが) つながりのある企業だけでなくもっと学生に幅広い選択肢を与えてあげても良いのでは
- このアンケートが少しでも役に立てば幸いです。
- 男女差別より本人の考え方による差がかなりあると思う(男性、女性とも) ポジティブにとるかネガティブにとるかによる面が大きい。就職した人は辞める理由を探すより続ける方法を探して欲しい。当初の立場が希望した業務や扱いでなかったとしても 5 年、10 年と経験を積むことにより、その姿勢によりまかされる仕事内容や責任も変化していくと思う
- 私は設計専任職という建築・住居卒の女性のみの就職なので参考にはならないかもしれませんが。(総合職ではありません) (住宅メーカーです) しかしこの職は自宅から通える範囲の異動しかなく大学でのことをいかせるので事務職はいやだけれど総合職の中に男性に混じって頑張っていこうという程の気力がない私にはいいかもしれません。ただ将来性はないかもしれないです、もっとバリバリやりたいと思うなら総合職になるしかないです
- 今回のプロジェクト発足を機に卒業生同士(女性限定)の集まりや交流会などがあるといいと思います。またさらに在校生(女性限定)を交えれば今後の就職や人生設計にかなり有効になると思います
- 育児にはいろいろなステージがあり、保育園だけが必要な訳ではありません。もっと大きな子供がいても働きやすい環境ができないと日本は子供のいない国になってしまうでしょう。研究者と技術者は事情が違います。電車の広告でこの支援室のことを知ったとき卒業生の多い技術者は対象ではないのだなと悲しかったです
- 現在は公務員なので女性差別はありませんが、民間会社にいた際はヒドいものでした。このままだと優秀な女性は海外へ流れてしまうと思います
- 学校ができることを考えるよりも社会の構造や人々の意識が変わっていなければ女性の社会的立場の向上は望めないとおもいます
- 大学卒業後、6年半働き第一子出産の際に退職しました。その後約7年半育児に専念し、現在の職場に再就職し、4年が経ちました。会社には男女差別について訴え続けましたが男社会の中では全く受け入れられず、先日の地震の際に帰宅難民になったこともあり限界を感じています

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 在学中にアンケート集め等で苦勞したのでこういう形でよければまた貢献したいです。頑張ってください
- 学生の時には目の前の目標として就職を選び働いてきたが、結婚や転勤などを経て働き方や何をを目指したいのか急に前が見えなくなってしまいました。先輩方がどの様に生きてきたか、また後輩へのアドバイス、同じ悩みを持つ仲間の意見などを知る機会があればうれしいなと感じます
- 就職をする際、就職課の生徒への対応の差が目立った。生徒の性別が男性と女性では対応が違っていて正直不快だったので就職を支援するシステムを作ったとしてもその部分が改善しなければ利用しないと思う
- 今の日本には研究者（女性）が必要です。女性研究者支援はとても良い活動だと思います。お手伝いできる事があれば協力します。しかし全く私は研究者でも学校で学んだことをいかした仕事もしていませんが・・・
- 環境情報学部（横浜キャンパス）は女性が多く、きれいで過ごしやすい空間でした。女性が入りやすい学科を工学部内に設けて、習える内容に選択の幅をもたせたら、イメージも変わってくるのではと思います。（文系で入っても→理系で学びたいと思うようになる）
- 興味深いプロジェクトですね。楽しみにしています
- 私の会社では「女性は結婚出産をする場合は昇給はない」と公言されています。このような会社や社員がまだ存在することに今更ながら驚いていますが事実です。少しでもこういう考えの人や会社が減る事を願います
- 私が在学していたのは8年ほど前で今どのように改善されているかはわかりませんが、当時は女子トイレの数、内装面でも女性から見ても好感が持てるものではありませんでした。研究など始まると学校に宿泊することもありましたが、女性の立場で言えば同じ研究室で男性と泊まる。少し嫌でした
- 武蔵工大時代、講師が女には判らないだろうと言う事もあるくらい、良い環境ではなかった。何故続けられたが今はよく判らない。多分女性が仕事を続けるのは周囲に応援してくれる人がいるかどうかなのではないかと思う。あとは支える場所、子供を預かる場所 etc. 便利に利用できれば家の中で何かまたやりたいと考えている人も参加できるのではないか
- ただ今育児中です。後輩のみな様が社会で活躍できることを願っています。しかし結婚や出産で仕事を続けていくのも難しいです
- 環境情報学部なので理工系職には強くなかったと思います。就職先もSE以外は事務や営業、販売が多かったと思います。私は今は資格勉強を中心にバイト生活です。お役に立てるかわかりませんが
- このアンケートの目的が「女性研究者のための環境整備や意識改革に取り組むこと」であれば女性だけでなく男性にも同じ内容のアンケートを取るべきだと思います。工学系の大学を選ぶにあたり、勉強に対する目的や目標はある程度想定されます。その想いが発揮される場、職場の意識を改善させるためにも50代、60代の男性意識改革が必要だと思います。2010年流行語の中に「育メン」が入りました。時代は変わりつつあります。教育（文科省）と労働（厚労省）との連携が大切だと考えます
- このアンケート結果は卒業生にとっても興味深いので何らかの形で知ることができたら嬉しいです

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 小3の娘は建築家になりたいそうです。このまま将来の希望が変わらないとすれば彼女も"工学女子"。"工学女子"が増えるよう娘を教育してご協力したいと思います。後輩の皆さん就職は男子より大変ですが世の中は"工学女子"を大事にしてくれます。頑張って入った会社で思う存分仕事をしてください
- ぜひ活用したいです
- 昨年末、卒業生(女子のみ)であつまりました。住宅設備のショールーム→住宅メーカー→出産して専業主婦を経て、昨年武蔵工大の同級生の友人に誘われて現在設計事務所で働いています。自宅で仕事ができるので家事や子育てをしながらやっています。一級建築士を独身時代に取得していたのですが資格があつて本当に良かったと思っています
- 古くからある企業にはまだまだ「女性だから」という意識が強くあると思います。営業職は男女平等になりつつあるところが多いですが、外の世界とつながりのうすい研究職は男女差別がまだまだ残っています
- 現在は武蔵工業大学時代の同期友人と一緒に設計事務所を設立して働いています。女性が男性社員に遠慮をする事なく、仕事も家庭も子育ても全て楽しむ為を選んで道です。経営を同時に考える事はある意味サラリーマンでいる時よりも大変な事も多いのですが今後の女性の新しい働き方を探りながら毎日頑張っています。同級生でも多くの女性が仕事を辞めています。細くてもいいのでずっと続けてゆけるようになると社会からの見られ方も変わってゆくように思います
- 今後の活動を期待しています。がんばってください
- 社会に出てからこのような試みはすごく意味があるものだと感じるようになりました。母校でこのようなことを行っているのが分かってとてもうれしく思います
- 理工系分野に女性が少ない理由は、学びたい分野が"理工系以外の人"が多いからではないでしょうか。私は建築を学びたくて工学部に進みました。例えば高校までの教育、授業内容が理工系の科目のものでもっと多角的にみるような視点で行えば理工学分野に興味をもち、仕事として携わろうと思うのでは?機械や電気なども「男の仕事」ではないという感覚、これは家庭での教育方針なども大きく影響すると思います。女性の宇宙飛行士のニュースなどいろんなところで活躍している女性がいること、それは当たり前なんだよという認識が大事だと思います
- 女性の活躍を応援しています。社会に出ている女性は本当に強く生き生きしています。私の会社も女性は精神面がとても強く安定していると思います。逆に男性は弱くうつ状態にある人が多いです。これからは女性の時代か?と思っています(笑)
- 転職は1度経験したが、支援システムあればなおやりやすい(視野が広がる)と思う
- 私は本校が大好きです。もっと多くの人に入学してもらいたいです
- 大学時代は授業や課題にのめり込み、卒業後就職先では仕事一筋。資格取得まで必死にそうしているうちに年月が過ぎ、仕事一筋で歩んできた道を最近立ち止まり自分の人生を見直しています。女性としてはやはり「家庭」も持ちたいので「仕事」と「家庭」を持つタイミングが難しく感じております。でもそんな今の人生を大いに楽しんでおります。女性としては仕事と家庭の両立よりも「仕事と家庭を持つには・・・」も重要かと思いました

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 女性の活躍はうれしいですが、社会だけでなく家庭との両立、マネジャークラスへの女性進出はこれから実現していきたいです。現状、両方をできているのは男性でもないと思うので女性の方にフォーカスするのではなく男女共にとってのテーマと思っています
- 圧倒的にやはり女性の（結婚等に伴う）離職率は高い、そうになると会社もボランティアではないので教育に時間をかけにくい。女性自身が女性の地位向上の足をひっぱっている面もある。但し以前より女性であることを意識せずに仕事できるようになっていると思う
- 私が卒業した時点で既に男女雇用機会均等法が運用開始されており、実力主義がかなり行き渡っていた感があるので、2011年の今このようなアンケートの発想に至ったことは若干不思議です。学生時代も男女差をイヤな面を感じたこともなく、就職活動においてもむしろ女性の方が元気だった気がします。女子学生についても"数"でなく"基礎力のある、そして意欲高い"人材を育成することが第一ではないでしょうか。企業が求めるのも名前より実力です
- 現在メーカー品質保証の仕事をしていますが、女性の総合職（技術系）の初の採用で、会社の人事系は早く女性の管理職をと言っていますが、部署の上司は女性は結婚して会社をやめる or 子供ができて会社をやめるから育てる気は無いと言われ、どうして良いかわからない。今後メーカー（特に中小企業で地方が本社）に就職を希望している学生には会社訪問を積極的にして欲しいと思う
- 女性だからできない、のではなく女性だからこそできることが沢山あると思います。学生の皆様のご活躍をお祈りいたします
- 面白いプロジェクトですね。現在研究職、技術職に付いておりませんのでお役に立てることは少ないと思いますが応援しております。その時々で比重は違えど、仕事も家庭も積極的に楽しめる、女性ならではの人生を、後輩のみなさんに歩んで頂きたいと思っています
- 大変お忙しい中、このような活動をして下さり、誠にありがとうございます
- 働きたくても保育園が空いてなくあきらめました。(1人目までは働いていました)一番下が小学校に入ったら再就職したいですが、もう40代。いったいやとってもらえるのか不安です・・・。
- "女性を大切に!"という様な都合の良い支援はかえって女性の地位、立場を悪くすると思います。変に守られている女性は男性からすれば"うっとうしいもの"と思われてしまいます。変わるべきは女性の意識だと思います。「こうしたい!」「こんな風になりたい!」と思ったら女性自身が考え行動するべき。環境や男性のせいにするのは間違っていると思います。偏った意見であるのは承知で記入させていただきました。失礼がありましたら申し訳ございません。女性の意識や考え方をサポートできる、ご活動であります様ご期待しています
- 大学入学時は、卒業後にこれほど男女差が社会に存在するとは思わなかった。公務員を選んだが、土木職には今だに男尊女卑が根強い。事務職への転任試験を受けようかと考えている。社会の意識が変わらないと女性が働くのは大変なことで仕事以外の苦勞をする
- 私は卒業後まったく理系と離れた職業についていたので逆に女性が多く活躍できる環境にめぐまれました。ただ、理系の知識をいかせる仕事にも憧れは感じます

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 女性でそのまま仕事を続けられている人はほんの一握りではないでしょうか？多くは他の仕事についていると思います。どんな職業に流れていったか調査していただけると興味深いです
- 私が働く業種は新しい考え、アイデアが求められます。男女の差別は全くありません。むしろ女性が活躍しています。少し福利厚生が弱いかと感じますが。とてもいい環境で恵まれていると思います
- 職場で自分でできる仕事を精一杯やっていると、男性の方から難しい仕事や一人で手に負えないことを手伝ってくれる。なのでお茶くみや買い物などは積極的に行う位でちょうど男女平等だと思っている
- 東京都市大学なんて知らん！！ 母校は武蔵工業大学

- 私は生涯現役で働き続けたいと思ってますが、今の世の中でむずかしいのかな。と思っている。もし結婚したら家事、育児は女性の仕事、子供が大きくなるまでは家庭に。と考えてる男性は少なくないのではないのでしょうか。（不況の今、再就職はすごく難しいと思っている）今は大学で学んだこととはほど遠い職種についていますが研究職につくのが夢だったので、ぜひ現役の女子学生のみなさまのサポートをしていただきたいと思っている
- 社会に出ると現在の職業に疑問を感じていても、誰かに相談したり、一歩踏み出すことが難しいと感じています
- 世間的に"女性"であることがもてはやされる風潮であるが、単に流行っただけである気がしてならない。本来男女に関わらず全ての人の能力は異なる。性別でひとくくりにするのではなく、"秀でていること"を正しく見る目が各々の人に必要だと私は思う。"女だから出来ない"などと考えたことなど子供の頃からただの一度も考えたことはない
- 夫が大学の建設工業科で教えておりました。現在は学生の半分が女子で、成績も女子の方が良いそうです。半数くらいの学生が卒業しても建築関係の仕事につかなくなっている状況ですが、女子学生の方が卒業してもむしろ頑張っているような気がします、頼もしいですね
- 質問に「家事手伝い」という回答がある時点ですでに女性への偏見があるのでは？（無職で十分）「支援」は結構な事ですがそれにより在学を「差別」しないで下さい
- 当時就職活動の中で男女の差を感じたことがあり、大変苦い経験を感じていました。現在はそのような状況は改善されつつあるのかと思っています
- このアンケートとは関係ありませんが、大学としてぜひ被災者の支援をして欲しいです。卒業生に義援金を募るなどの活動をされているのか分かりませんが大学として、卒業生として協力できればと思っています
- 卒業後に就職した会社は女性だから・・・という様なことがなく、技術職として働かせていただきました。事務の女性と一緒に（お茶（お昼））を入れていた位です
- 大学、大学院で学んだことが今の職にいかされている。大学でどの様な研究室に入り、そこでどの様な先生に指導してもらえるかということが重要だと思う

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 理工学分野で活躍されている女性を大きく紹介していくことで、若い世代の興味を集められると思います。また理工学系は「大変」というイメージが強いと思いますが、どんな仕事に就いても同じ様にまたはそれ以上に「大変」であることは確かですので、そうしたイメージをなくすことも大切だと感じています。「仕事を楽しむ」ということを優先して考えるように就職活動などでもアドバイスをしていくことが大切ではないでしょうか。(余計な心配をしすぎてしまって本心と異なる道を歩まないために)
- 女性研究者の為の取り組み、大変素晴らしいと思います。頑張ってください
- 現在の職場では女性の方がむしろ能力を発揮し、男性よりも高い評価を受けています。女性を女性という理由のみで優遇することはある種の差別、あるいは区別といえるのかもしれませんが。男女を問わず、年齢を問わず、人種を問わず、各々が能力を活かし、生きやすい環境になればよいと思います。難しい問題ではありますが真に平等になるときがくればよいと思っています。
- 私の職場は、産休、育休、復職、短時間勤務に理解があり、活躍している女性が多いため、ほとんど不満を感じたことはありません。ただ、お子さんのいる女性は休むことが多かったり、残業ができないため昇格はしにくいと感じる。仕方ないと思っています。
女性は産休、男性は育休を取れるのがあたりまえの社会になってほしいです
- 卒業後 5 年半をゼネコン設計部で就労、その後結婚を機に転居のため退職し 11 年間を専業主婦として過ごしています。今春、下の子供が小学生になるために再び働きたいと考えているところです。子育てをしながら資格取得をし、備えてはきたもの実際どうなるかは先が見えていません
- 卒業後でも求人を見れたり、再就職サポートがあれば絶対女性も安心だと思うし「就職」に敏感な学生を集めるにもとても良いシステムだと思う。(現在通っている学校にはそういうシステムがあるので・・)ただ、能力を学校が保証するのは難しいと思います
- 「東京都市大学」に名前が変わり、知名度が落ちたことを実感している。知名度が落ちたことで学校のイメージ低下につながっている。無名の大学になってしまっているのを実感する
- 現在は大学で学んだことと全く関係ない仕事をしています、大学生活は今の自分の糧になっていると思います。このような"女性だけ"にアンケートをとるようなことがない方がいい気がするのですが。"女性を"増やすとか考え方矛盾してませんか？性差をなくしたいんでしょう？
- 35 歳のとき、リクルートに技術者として登録し転職しました(年収 UP) 女性であるというだけで書類審査してもらえないという現実がありました。しかし年齢相応以上の技術力があること、就職先にインパクトを与えられる人材であれば転職可能です。常に仕事か結婚かの二者択一をせざるをえませんでした。並みの男性から突出していないと結果は残せません
女性がしっかりと「子育て」をできるような職場環境(在宅勤務など)と周囲の理解(特に女性)の2つがなければ両立は難しいと感じます。産んだからには他人任せにせず、しっかりと子供と向き合い育てていくことが女性としての責任と考えます。それが出来ない場合は子供を持つべきでないし、ワーキングマザーになるべきでないです
- 昔の武工では考えられないようなアンケートです。進化したなあと思います

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 現在は設計職をしていますが、今後出産や育児をむかえた時、また同じ職場に復帰することは難しいのだろうと思います。大学の中から今まで学んできたことをいかしながら働いていきたいと考えた時に、今の職場にその枠がなかった時は転職を考えなければいけないと思っています。そんな時に母校に相談できる場所があればとてもうれしいと思います
- 私の学生時代は学校には女性は非常に少なく、工学部を卒業した女性がどの様に働き続けるのか、相談できる機会もなかったと思います。本活動が女性が活躍する原動力となれば良いと思います
- はやく男女関係なく活躍できる日が来ることを願っています。フリーで活動しているため、一般的な女性の職場状況がわからない立場での回答で申し訳ありません
- 私はどうしても「工学」「土木」という言葉に魅力を感じるけれど、今の学生は「環境」などのキーワードに惹かれるのかなあとと思うと少しさびしい。身近に工学系のあこがれる女性の先輩がいないので将来が不安になる同年代の工学系女性が多いような気がする
- あまり女性だからという意識する事より、各人の仕事への情熱に対する思いが必要だと思います
- 女性技術者のネットワークができることはとても心強く大賛成です。結婚したばかりなので家庭と仕事の両立を先輩方にお聞きしたいです
- 私は大学院には進学しなかったのですが、社会人になってから資格取得を検討した際、その資格の条件に院卒であることが入っている物があるので、そういう講座を開講して頂けるとありがたいです。(欲しい資格は産業カウンセラーです)
- 文系科目で受験して入学したので、あまり工学系という意識はなかった。(就職先も文系事務職。男女差も古い考え方からくるものだった)
- 出産に伴い離職しました。複数の国家資格を取りましたが当時は復職を考えていませんでした。しかし、今は全く違う職種でパート勤務をしているものの家庭と両立できるのであれば、技術職 or 活かした環境のもと働きたい気持ちは強いです。卒業後民間に就職したのですが、例えば公務員ならば違ったのだろうか？と思う事がしばしばあります。娘が中学生です。将来を考えると私とは違う人生を歩めるものなら一生働ける職種を選んでもらいたいと思います。理系の女子はシンプルで良いと思います。どんどん増やして欲しいです。男性社会の中でも働き続けられる環境も欲しいですね。 当時会社で私は土木技術者第一号の女子でした。開拓するというのは大変な労力を生じました。仕事を覚える以前の問題でした
- 女性を採用する会社を斡旋してくれたり、理系女子へのフォローが大事だと思います。授業の受けやすさ、就職活動のしかた、就職への心構えなど女性のリスク（長く働くことの大変さ、仕事と家事等の両立の大変さ）なども伝える機会を設けて、意識高い女性教育があることを武蔵工大の売りにして欲しいです
- 女性研究者支援ができて私はすごく助かっています。今まで聞いた事がなかった為これからも継続して更に女性が働きやすい環境になっていける事、期待しています！！

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 理工系の世界自体は働いている中で「男だから、女だから・・・」という意識はあまりないと思う。社会と女性の意識が問題なのでは。確かに体力がないとか物理的な差はあるが理工系に疎くても、という社会の意識があると思う（たとえば中学入試のときから女子校は算数、国語だけの2科目で国語が強い子が多いので有利という学校が多い、とか）そういったものを変えていかないとずっと変わらないと思う
- 今度の活動を期待しております
- 社会人をやっていると、男女差はほとんどないかむしろ女性の方が活躍していると感じます。会社にもよると思うので、大学としてそのような体制を整えられている優良な企業に認められる大学になって欲しいです。人材として問題解決能力が高く、人の何かを解決してはじめて給料を頂けるという意識がある学生を育て、東京都市大のネームバリューをあげれば良いと思います
- 女性社員が少ない職場で働いていますが（男女比 10:1）良い点、悪い点両方あります。入社当初はとても惑いましたが、5年勤務し「慣れて」くるものです。ポジティブシンキングで楽しく働いています
- 理工系は社会にでも非常に応用がきくので、女性にとって仕事をする上で有利だと思います。増えると良いですよ
- 電機メーカーで設計をしています。これまで女性だから不利だということはなく働いており、女性にも良い仕事だと思いますが、工学系の女性はあまり増えず残念に思っていました。おもしろい取組と思います
- 私が学生のときも、このような機関があれば良かったな・・・と感じました。昨年度末で6年勤めた製造業の会社を結婚を機に退職し、今は進路のときに迷った介護の仕事をしています。この景気でなかなか就職も大変ですが、後輩の方には社会で大いにはばたいていただきたいと思っています
- 女子栄養大学など、他の大学では良い形で卒業生同士のコミュニティをつくって参考になると思います
- 建築設計事務所に10年程勤務していたが、子供の事を考えると、どうしても時間的理由で仕事を変える必要を感じ、公務員（技術職）へ転職した。自分が男だったらきっと設計をずっと続けていられたと思う。女性は嫌でも子供優先で考えてしまうと思います。好きな専門職に熱中したい気持ちと子供への思いとの間で悩んでいる理系女性は多いと思いますよ！
- 自分の学んできたことだけに固執することなく自分らしさ、人間性も考えて就職し、その環境を楽しめるように自ら周囲を引っ張れるように意識を高く持ち続けることが大事
- 就職先の営業職は男社会だったので、体力的にも精神的にもきつい時は多々あった。結婚を機に辞めたが、建築、設計業務の女性も辞めたいとグチをこぼしていることが多いので、業界的に女性はまだ活躍の場が狭いと思う
- お疲れ様です。女性研究者への支援、応援しております
- やはり東京を中心にいろいろなことがまわっており、地方にいと少し遅れを感じる。ネットなども地方だと手薄な感じがある
- 現在、エンジニアからキャリアアドバイザーをしています。学生の時からどんなキャリアを目指したいかをアドバイスしてやれる人は必要だと思います。環境も大事ですが本人（学生等）の意識が何よりも大事だと思います

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 自分が就職した当時は、男女の差がいちじるしく、大変くやしい思いを致しました。今でももう一度やり直したい気持ちでいっぱいです。現在は以前と比べてずい分女性にとって働きやすい環境になってきました。うらやましいです。これからの女性に多いに期待します、がんばって！！
- 出産を機に仕事から離れて 11 年になります。卒業生としてアンケートさせていただいた事、うれしく思います。私は思うように仕事に戻れないですが、これからの方々には是非頑張ってくださいと思います
- 私は公務員であり、職場には優秀な女性職員が多く働いている。男性も働いている女性に慣れていて、女性上司への抵抗感が少ない。家事に協力する男性も世の中の比にならない程多い。この環境を今の学生にも知らせてあげたい
- 転職する際に大学からの支援もあったら良い
- ゼネコンの設計部に勤めて 2 年、一級建築士の受験資格が出来たと思い退職した。設計事務所を開設し建築ベースの仕事をしたと思ったが、楽しい仕事ではなかった。手が空いているようなら模型を作らないかといわれこれぞ私にピッタリの仕事と思って以来 70 才で廃業するまで 300 件には届かなかったが、時代も良かった、運も良かったと思っている。大学を卒業して 50 余年、いまさらアンケートに答えるのもお役に立たないと思いますが
- 自動車会社に就職し、エンジン設計に従事しました。現在は親のあとを継ぎ自営業です。女子の配属は自分が第一号だったので、会社側も自分も戸惑うことが多かったように思います。そのうちにだんだんと女子採用が増えてきて今では種々のシステムも整ってきたように思います。これからもテクノレディ（自分が武蔵工に在学していた頃の呼称）が増えるといいなと思います
- 一般的に「女性の方が意識が高い」と言っていますが、採用にはつながりにくいと感じています。工学系の女性は就職活動での対話やアピールが弱いためだと思うので、そのあたりをフォローしてあげてほしいと思います
- お疲れ様です。これからも頑張ってください
- 男の職場で働いていますが、環境的には大学時代とあまり変わらないはずなのですが、やはり男と女の差を大きく今は感じます。学生時代と社会は大きく違うんだなと社会人になって感じました。理系だから男の多い会社に行くとは限らないですが、もし男性の多い会社へ行くなら・・・もっと大学の時色々調べておけばよかったと思ってます。後輩の女子生徒が同じ様な職場へ行くのなら、それなりの覚悟と強い気持ちがなければやはり難しいと伝えたいと感じました
- 工学系の女性が少ないのは、前例があまりみられないからだと思います。女子中や女子高などで工学系で活躍する女性のおはなしなどでできれば意識がかわると思います
- ゼネコン設計部に 10 年勤めた後、夫と建設事務所を開設。今まで院卒も含め、10 人位の女性（すべて他大学）を雇ったが、結婚、出産をきっかけに辞めてしまった。立派な意見を述べていて、楽しみに育てていたのに、見合ひし、相手が遠方で即辞めてしまった。芸大博士出の女性も第一子出産で家庭に入ってしまった。女性の側にかなり問題が有る。「結婚・育児」と「仕事」かを選択してしまう
- 女性が自由に自分の力を発揮できる環境が整っていくのはとても嬉しいことです。私は育児を境として建築の仕事を辞めました。今は時間を自由に使え、自分の好きなことで起業しています

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 卒業生の仕事の取引先としてのマッチングができるといい。そんなに再就職が困難な状況なのでしょうか？
- 昨年気象予報士の資格を取得しました。学校在籍時の専攻とは違う分野ですが、大学のネットワークをいかして幅広く「理系」での転職、再就職の支援をしていただければありがたいです
- 女性の友人で、技術者、研究者として活躍している方も沢山います。就職面接ではほぼ 100%、結婚や出産について聞かれますが、制度が充実してきた職場も増えたように感じます
- まだ独身なので男性と同じ様な働き方が可能ですが、結婚、出産等ありましたら変えざる得ないかと思えます。与えられる環境の中で上手に選択できるようになりたいです。
- とにかく女性社員の少ない会社で働いています。自分が手本としたい先輩社員はいません。何でも頑張って自分が後輩の女性社員のお手本となれたらいいと思っています。まずは会社に認めてもらえるよう頑張るのみだと思います。やはり会社では女性ということで不利な事が多いと思うので・・・でも仕事はおもしろいので学生のみなさんにも頑張ってもらいたいです
- 自分たちが在学中に学んだことを仕事にいかせる就職先を学生が頭に入れられるような環境がほしい
- 世の中のシステムが変わらないと、建築業で女性が生きぬいていくことはとてもむずかしいと思います
- バブルがはじけた頃に就職したので、他業種の仕事となり、今も好きで仕事をしているわけではない。若い頃は役所に打ち合わせに行っても存在を認められていない感じ(いたの?・・・)で、今は、役所の担当者より年上になり、このおばちゃんできるの?と感じで見られる。それを打開するほど好きな仕事ではない。役所の人との信頼関係は男性ほど成り立たない
- 働いていた時の職種が完全に文系だったためお役に立てずすみません。研究職、技術職の方は継続性を求められるので、育児、介護等で職場空けるのがより難しいのだと思いますが、時短勤務、在宅勤務等、環境を整えていけばせつかくの才能、技能がうもれることなく有効活用できると思います。頑張って下さい
- 私の今の仕事は保険会社の事務です。就活を始めて就職課に行った時に、今の会社を受けることを伝えると、とても嫌な態度をされ、なぜ工業大学らしい会社へ行かないのかと怒られました。おそらく「工業大卒の女性はこんな専門的な企業へ行きました」というような実例がほしかったのではないかと思います。工業大卒の女性だって一般事務の仕事を希望する人もいます。仕事と家庭を両立したい人も、家庭を持ったらやめたい人もそれぞれいます。女性の立場を考えて将来を話し合える環境の大学でないとなら女性を増やすのはこの大学はむずかしいと思います
- 子育て介護などでキャリアを中断せざるをえない人達に働き方、再就職の支援は必要だと思います
- 大学在学中に就職についての講義が必要だと思う。会社の具体的な情報（個人で集められる以上の情報）を学生に積極的に流すべき
- あえて、女性の支援のための活動やこのようなアンケートを実施することに疑問を感じる。逆の差別意識では？
- 夫の転勤に伴い、つい最近退職しました。まだ 20 代なのでチャンスがあればまた働きたいと思っています。そのときに武蔵工業大学で学んだことが活かしたら良いと思っています

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 高校までと違い、魅力ある先生・授業がほとんどなかった。もっと公的資格を取得する環境・・・卒業後、大学名だけで判断されないよう、絶対評価を持てるモノが欲しかった
今まで、様々な職種で職いてきましたが、理系である、なしに係わらず職場で女性の受け入れる体制がととのっていないことの方が問題だと思います
- 大学を卒業して社会に出て 4～5 年くらいで転職等を考える機会がでてくるので、大学の中にキャリア支援をするシステムを作って頂けると活動しやすいのではないかと思います。現在は男女差別等もなくなったりもするので女性も社会貢献がどんどんできるようにすべきだと考えます
- 女性が女性だということを意識しすぎているのでは？気にしなければ気にならない
- 女性工学部で自ら起業している方の集りなどがあると参加してみたい。子供、家族を守りながら在宅で生々仕事ができないものかと考えています。実際、理系で時短勤務など難しい社会です
- 女性の社会参加支援をする職業についています。ご活動に応援させて頂く気持ちでアンケート回答させて頂きました。何かの一助になれば幸いです
- 理工系学部に女性を呼び込むことに労力を注ぐ必要があるのでしょうか？私の場合は理工系の仕事として建築を選んだ訳ではなく、建築学科が工学部だった。「理工系」を強調する考え方に違和感があります
- 理工系、文系に限らず優秀で意欲のある人材を社会に送り出すことが大学の使命だと思います。女性の学生を増やすことも大切ですが、男女を問わず優秀な人材を輩出するよう勤めて頂きたいと思います
- 先日転職したばかりですが、学内に転職システムがあればより自分の希望にかなった職業に就け、また転職時のバックアップがあることに心強さを感じ、安定した転職活動を行えると思いました
- 就職活動の時に男女差別を感じました。なので今は資格をとり資格をいかした仕事をしています
- 私は企業で技術職(?)に就きたかったのですが「女性だし、結婚しても続けられるの?」と言われ、失望したことがありました。後輩たちにはそのような思いをせず希望する進路に進んで欲しいと思っています。頑張ってください!!
- 女性支援の取り組みは素晴らしいと思います
- 能力的に優秀な女性技術者が社会に増えつつありますが、女性らしさがなくなっている気がします。見た目は女性らしいのですが、女性ならではの気配りや立ち振舞いができていない人が多いです。男女平等ではありますが、女性の特性や女性ならではのこまやかさが失われては残念です
- 他の業界に比べて建設業はまだまだ女性差別が多いと思います。せめて武蔵工を卒業した男性がそれぞれの会社の上層部になった際には、その様な考えの無い業界になる様に努めて欲しいです
- 大学名を元にもどしてほしい
- 理工系の大学に行くのと、理工系の職を選ぶのは違う問題な気がしました

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 「理工系に女性が少ない理由」について、中学、高校などの教育も理工系女子少に影響していると思います（つまり技術家庭の授業はもれなく家庭科など）家庭科も大好きなので、どちらか選択というもの寂しいですが、技術の授業の面白さ、物づくり体験や職人さんの現場を見るとかの機会が増えれば変わるのではないのでしょうか・・・？大学としてはどの学科に進むと、どんな職業につけるかを具体的にもっとアピールしても良いと思います・・・（勉強不足だったと思いますが、通信系行くとTVや舞台の照明、音響とか裏方さんに行ける等は4年生で知りました）世の中の魅力的な職業って意外に理系を選択していく所が多い・・・を就職活動中に知りましたし（就職口の募集があるというか）大学選択するときはそこまで調べなかったけれど、そのへん大学のパンフでもアピールしてると面白いと思います。あと難しいかもしれませんが、行政（国）の支援・・・というか「技術者を大事にする」気風があれば大きく変わると思います（資源の少ない日本では世界に売れるのは技術でしょうから・・・）うちの会社のトップは技術者をなめているのか軽視しているので余計にそう思うのかもかもしれません
- 自分自身は現在転職は考えていないが、キャリア支援をするシステムがあることは良いことだと思う
- 新卒の時に就職できず、そのままフリーターです。一般職しかしていないが、いつか大学での知識をいかせる仕事に就ければ幸いです。親に申し訳ないから
- 会社でも同じ大学の友人がいるとすごく安心するので、コミュニティがあれば是非入りたいです。敷居が低いと嬉しいです、、フランクな感じのコミュニティがイイと思います
- 主婦になって特に感じた点は、大学在学中に資格取得しておくべきだったと強く思います（フルタイムで働きたいけど病児保育、保育施設が少なくて入れない場合は特に資格が必要になるので）
- 結婚、出産後の女性は仕事以外にもやらなければいけないことがあると思います。男性と女性が同じように働くことは理想かもしれませんが、性別の違いによる役割分担は必ずあります。それを考慮した上で、女性が働き続けるにはどうしたら良いか、周りの人はどうサポートしていくか、そして本人が頑張らないと日々技術が進化していく工業分野での活躍は難しいと思っています
- 在学時代から「女だからいい」のように差別的な扱いを感じたことはありませんでした。当時は2号館以外は古く、寒い（冬は）等、環境面での問題はありました。また研究室での仲間と仲良くなれたおかげで今も交流があります。同期会の開催もアリだと思います
- 以前は女性の社会進出は制度が整っていないから難しいと考えていましたが、最近は「会社員として働く」＝「全ての時間を会社に使う」という働き方があたりまえになっているからと考えるようになりました
- 具体的にどのようにして「理工系に女子を増やす」のかわかりませんが、不自然な形で増やそうすることは望ましいことではないと思います。過去、女性だけ入試の点を上乘せしたこともあるように聞いたことがありますが、それは本人にとっても不幸な結果につながることもあるかと思います。やはり向き不向きはあるので本来の適性が社会の根強い偏見でゆがめられている部分はあると思いますが、社会が変わらないと思います
- 私自身は現状現職等は考えてないが、同窓生で出産もしくは結婚を機に退職した女性が複数いるのでキャリア支援があったらいいと思いました。アンケートの調査結果で卒業した女性が社会でどんな活躍をしているのか分かったら知りたい。お役に立てることがあればご連絡下さい

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- 女性研究者、と言うよりもそもそも研究者の待遇が悪いと思います。給与や社内での地位など（社会貢献度の割りに）低いと思います。割の合わないことや、現実を考えると女性が"研究者"を選ばないか、やめてしまうのは本能的なかもしれません
- 大学時代同じ研究室や同じサークルの子とは今でも連絡を取り合い、会うこともあります。大学時代に大切な友人が沢山できました（男女問わず）これからもそんな素敵な環境を作ってほしいと思います。
- 女性技術者は、男性の中1人という環境になりやすいです。女性だからこそ、有利という場面もありますが（覚えてもらいやすい、知り合いを増やしやすい、等）悪意のないセクハラに近い行為も受けやすいのでは。そして相談もできません。と思います。社会での女性技術者の増加を切に願っていますので、可能な限りお手伝いします
- 家庭を持つ女性技術者に再就職の道がほしい。派遣会社のあっせんとかしてほしい。家庭と両立しながら働けたら
- 環境情報学部を卒業後、技術系に就職した際に理工分野の基礎知識が少ないと思うことが多々あった。また社会人大学院に通った際に、今の自分の立場からもう一度学ぶことで授業の際に着眼点や何を学びたいのかが明確でとても役に立った。社会人になってから再び学ぶ場があればさらにキャリアアップできると考える
- 差別化するプログラムが必要。女性のバランス感覚に交渉術など実践的なカリキュラムがあると今後は役立つのではないのでしょうか
- 少しでも後輩のお役に立てたらと思います
- 工学系に女性が進出するのはとても良い事じゃないかと思います。工学系で活やくする女性が増えればメディアなどでも見られるようになれば女性自身のイメージもかわっていいのではないかと思います
- 自社でも女性を積極採用したいとの話がありましたが、なかなかハードルを超えてくる学生がいらないそうです。女性であることの特性を活かせたらよいと思います
- 会社の採用担当者の話では、採用の面接をすると女性のほうが男性より優秀な人が多いとききます。女性が希望すれば理工系の仕事はあると思う。女性が仕事を継続していける社会、会社であることが大切と考えます
- 結婚出産を真剣に考えると総合職であり続けるのは難しい。事務職は雑用ばかりでどんなに頑張っても会社が認めてくれることはない。それが分かっているので女性自身が前向きにはなっていない
- 在学中に就職課の方が背中を押して下さって就職することを諦めなかったことが今の幸せへと続いています。女性だからといって偏見なく「正社員」をこだわらせてくれた対応に感謝しています
- 私で良ければ後輩のため協力させていただきますので、お声掛けてもらえればと思っています。
- 現職場は武蔵工大とほぼ同じような環境で非常にすごしやすいです。ただし、結婚し家庭を持ち、残業が出来なくなると、任される仕事も減ってくるのも現状。家庭も大事にするという環境がいいと思います。
- もう少ししたら、またフルタイムで今までの経験をいかして働きたい
- 女子トイレも各階にあつたら嬉しかったです。男性多数でもあまり気になりませんが、女性が1人、2人というのは気持ち的にきびしいと思います。1学年に4～5人以上いた方が安心して受験できるのではないのでしょうか？
- 子供を出産すればするほど、社会復帰は難しい。「ママ向け」のセミナーやシステムをたくさん作ってほしい
- もっと学校の施設を活用し、先生と交流を深めておきたかったです

～ 卒業生アンケート実施結果 フリーコメント一覧 ～

- ここ数年、総合職正社員で入社してきた女性（ここ 4～5 年以内に入社、社会が男女雇用機会均等を言いだした頃から）と、以前からいる古株の女性社員との扱いにギャップがうまれてきている。ここ数年は会社も女性社員を男性社員と同じように扱うように慎重に対応している。しかし、その反面、昔からいる人の扱いは変わっておらず、女性同士での反感が生まれているケースが多々ある。現在の学生はもちろんですが、頑張ってきた先輩方へのはたらきかけもすべきだと思います
- 仕事と育児の両立は大変な所もありますが、どちらからも得る物があり、いい仕事だと思います。男女差は女性が子供を産むので仕方ないと思います。辞める方も女性の方が多いです
- 数少ない工学系の女性同士だからこそ情報交換や連携をもてると力強いと思います
- 教職を取り直そうかと考えたが、再び多額の授業料は払えないし、年間を通して学校に通うのが難しいと判断し、あきらめた。私の場合は結局夫のキャリア（海外転勤）の為に自分の職を失いました。ちなみに夫は同大学、同学科卒業です
- 未知の世界なので具体的にどうと思うことは無いですが、今回の女性支援の活動には賛成です。今後の発展に期待します
- 技術が日々進歩、変化している中、離職後期間をあけての再就職は非常に厳しいと感じています。多くの女性技術者が感じているところかと思います。一度も離職することなく家庭と仕事を両立させることが必要であったと考えます
- このアンケートを通して、自分の学生時代をふりかえることができました。感謝致します。これからは、男女の役割はあるにせよ女性も 1 人の大人として自立するべきであると私も考えています。現役の学生さんも含め都市大学の今後に期待しております。ありがとうございました
- 社会における（職場での）男女差というのは現代あまり感じません。それよりも、日本の労働環境は男女共にひさんだと思います。まずはサービス残業の禁止を義務づけることが第一だと思います
- 2 年近くワーキングホリデーで先月帰国しました。今は無職ですが今後外国での経験もいかした仕事ができるとよいと思います。在学生、卒業生共々更なる女性の活躍をお祈りします